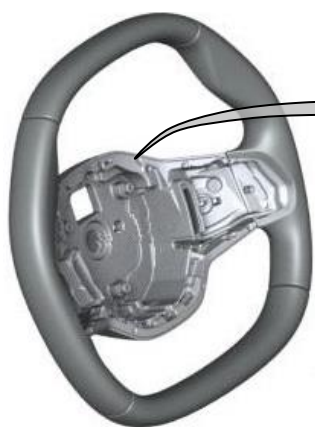


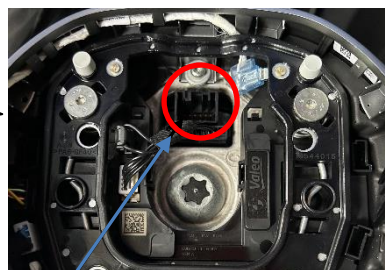
改善箇所説明図



図：左ハンドル車



ステアリングホイール



基準不具合発生箇所

ステアリングホイール内ケーブル締結部

注) は、点検を実施して、必要に応じてワッシャーを追加する部位を示す。

不具合の内容

ステアリングホイール内にあるケーブル締結部のボルト穴の掘削深度が不適切であったため、ボルトが締め付けられた状態でケーブルが正しく圧着できていないものがある。そのため、接触不良となり、ハンズオフ警告や緊急停止が正しく作動しないおそれがある。

改善の内容

全車両、ステアリングホイール内にあるケーブルのボルト締結部を点検し、必要に応じてワッシャーを取り付けて再組付けを行う。

識別：作業完了車は、左フロントドアロアヒンジ取り付けボルト（下側）の頭に白ペンを塗布する。